

ごみクレーン点検整備業務委託

発 注 仕 様 書

能 美 市

本仕様書は、能美市が発注する能美市美化センター（以下「センター」という。）
ごみ焼却施設における ごみクレーン点検整備業務委託 に適用する。

1. 業 務 名 ごみクレーン点検整備業務委託

2. 業務場所 能美市美化センター

3. 履行期日 令和8年3月18日

4. 業務内容 別紙 特記仕様書参照

5. 現地作業期間

現地作業期間はセンターの焼却運転計画により休炉日（日・祝）で予定しており、令和7年12月上旬～令和8年3月上旬までの期間においてセンターと協議し決定する。

作業期間中において、夜間作業を実施する場合はセンターが可能な範囲で許可する。

ごみの量により予定を変更する場合は、これに協力すること。

6. 注意事項

- 1) 作業に当たっては、センターの指示に従い、十分連絡確認をとり実施すること。
- 2) 受注者は発注者により異常等の連絡があった場合には、速やかに対処すること。
- 3) 受注者は、業務上知ることのできる一切の事項を他に漏らしてはならない。
- 4) 受注者は、関係法令を遵守すると共に、ダイオキシン類の暴露防止のために、平成13年4月25日付基発第401号の2「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策について」（平成26年1月10日改正）の通達を遵守し、作業を行うこと。

7. 提出書類

提出書類は次のとおりとし、提出部数はセンターの指示によるものとする。

- 1) 着手時
 - (1) 着手届
 - (2) 作業管理者等選任届
 - (3) 工程表

- 2) 作業中
 - (1) 作業日報
- 3) 完成時
 - (1) 完成届
 - (2) 完成図書（点検報告書、資料、図面、写真等）
- 4) その他センターが指示するもの

8. 労働安全衛生管理対策

- 1) 受注者は、作業の実施にあたり常に細心の注意を払い、労働安全衛生法並びに関係法規を遵守し、作業中の危険防止対策を十分に行うこと。また、労働者への安全教育を徹底して、労働災害の発生がないように努めること。もし、人身事故等が発生した場合は、速やかに報告しなければならない。
- 2) 作業中は、所要の人員を配置し、現場内の管理・整頓及び保全に努めること。
- 3) 作業を実施する場合は、あらかじめ保全上必要な措置、緊急措置及び連絡方法等についてセンターと協議し、これを遵守すること。
- 4) ガソリン等の危険物を使用する場合は、保管及び取扱について関係法令に基づき万全の方策を講じること。
- 5) 作業現場への一般立入を禁止する必要がある場合は、センターの承認を得て、ロープ又は柵を設けるとともに「立入禁止」の表示をすること。
- 6) 資材置場、資材搬入路等については係員と協議し、他の業務等への支障を来たさぬようにすること。
- 7) 作業中の秩序を保つとともに、火災、盗難等の事故防止に必要な措置を講じること。

9. 作業遵守事項

本点検整備の実施に際しては、次の事項を遵守するものとする。

1) 作業用機材等の準備

作業に必要と思われる仮設用の照明、器具類、運搬車両類、作業用品等の準備及び現場事務所設置（電源含む）等については受注者の負担とする。

尚、作業用電源、水道、現場事務所設置スペース、資材置場等は可能な範囲で支給する。

2) 廃材処理

作業で発生した廃材については、受注者の責任において廃棄物処理法・その他関係法規に基づき、適正に処分すること。（ただし、金物類については場内処分とし、別途指示する。）

3) 材料検査

作業に使用する主要機器・材料の検査は、原則としてセンターの立会のもとで行うものとする。ただし、センターが特に必要と認めた場合には、請負者が提示する検査（試験）成績表をもってこれに代えることができる。

4) 安全管理

作業に当っては「労働安全衛生法」など関係法令を遵守すること。

作業中の危険防止対策を十分行い、併せて、作業従事者への安全教育を徹底し、労務災害の発生がないように努めること。また、作業に伴ないダイオキシン類の作業場への拡散が予想される場合には、適切な拡散防止と暴露防止対策を講じること。

作業中はセンターが運用している場合があるため、ごみ持ち込み車及び収集車等の通行に際して、十分安全に配慮すること。

センター及び第三者に対しては、全て受注者の費用において、相当の防護策（バリケード等）を施さなければならない。また、やむを得ず生じたセンター及び第三者への損害及び損傷については、受注者においてその損害額を補償するものとする。

5) 現場管理

資材搬入及び置場等についてはセンターと十分協議し、施設の運転やセンターの運用に支障が生じないように計画すること。また、整理整頓を励行し、火災、盗難等の事故防止に努めること。

6) 清掃・後片付け

作業完了後、敷地内の工事仮設物を速やかに取り除き、清掃・後片付けを念入りに行うものとする。

7) 復旧

他の設備、既存物件等の損傷、汚染防止に努め、万一、損傷、汚染が生じた場合には受注者の負担により速やかに復旧すること。

10. 関係法令の遵守

受注者は、作業の実施にあたり作業に関する諸法令等を遵守し、作業の円滑な進捗を図ること。また諸法令の運用適用は、受注者の負担と責任において行うこと。

11. 資格を必要とする作業

資格を必要とする作業は、それぞれの資格を有する者が行うこと。

1 2. 疑 義

本仕様書、設計図書について、設計又は作業中に疑義が生じた場合は、センターと協議し、その指示に従うこと。

1 3. 保 証

1) 保証期間

保証期間中に生じた構造上の欠陥、破損及び故障等は受注者の負担にて速やかに補修、改造もしくは取替を行わなければならない。また、焼却プラント全体の性能保証の観点から本点検整備の実施不良による結果、本点検整備範囲以外の他の焼却設備への破損及び故障等が生じた場合においても同様とする。ただし、センターの誤操作および天災などの不測の事故に起因する場合はこの限りではない。

2) 責任施工

本仕様書は、基本的内容を定めるものであり、本仕様書に明記されていない事項でも点検整備の性質上、当然必要と思われるものについては、受注者の責任において完成すること。

特記仕様書

この仕様書はごみクレーン点検整備に適用する。

1. ごみクレーンの概要(メーカー 東洋ホイスト(株)製)

型 式	油圧式クラブバケット付天井走行クレーン
数 量	1基(バケットのみ1基予備)
吊上荷重	2.1t
定格荷重	0.75t
スパン	11.15m
揚 程	20.90m

速度及び電動機

	速 度	出 力	数 量
巻 上	0.5m/s	15kw6P	1台
開 閉	開 5.0s 閉 8.0s	5.5kw4P	1台
横 行	0.33m/s	0.75kw4P	2台
走 行	0.50m/s	1.5kw4P	2台

操作方式	クレーン操作室:遠隔(手動・半自動・自動)運転 投入ステージ :手動操作
電 源	AC 400V 60Hz 3φ
給電方式	キャブタイヤケーブルカーテン式
走行軌条	22kg/m(t=6ゴムパット付)
最大輪重	約3.6t
クレーン全重量	約9.9t
荷重計	ロードセル
照明灯	水銀灯 500W 2灯
内容量	1.0m ³ (切取容量2.0m ³)
用 途	都市ごみ(比重:0.375t/m ³)
バケット自重	1.35t
バケット型式	フォーク式

2. 点検整備内容

ごみクレーン(制御盤・操作盤含む)1式の点検整備

1)ごみクレーン

- ・走行レール、クレーンガーター、クラブ、バケット、吊金具部、電気品、絶縁抵抗測定、電流値測定等を(社)日本クレーン協会の「天井クレーンの定期自主検査指針」並びに各基準等に準拠して点検する。

※軽微な調整やボルト増し締めも含む。

・部品の交換作業

クラブ

巻上減速機潤滑油交換(VG150 又は相当品 20L 缶) 2缶

バケット

給電ケーブル(SW-2PNCT 5.5sq×8芯×40m) 1巻

ワイヤーロープ(φ12.5mm×32m) 4本

バケット作動油(VG46 又は相当品 20L 缶) 5缶

電気設備(制御盤)

巻上ブレーキ用電磁接触器(S-T10BC) 1個

横行ブレーキ用電磁接触器(S-T10BC) 1個

走行ブレーキ用電磁接触器(S-T10BC) 1個

バケット開閉用電磁接触器(MSO-T35BC 22A) 1個

トルクモータ用電磁接触器(MSO-T25BC 9A) 1個

開閉用補助リレー(LY2N 100V) 3個

・各機器の点検及び清掃、試運転調整